



こおりまち

議会だより

令和2年秋号 VOL.122



認定 令和元年度一般会計決算 … 2
「住み続けたいまちこおり」を目指し！

契約期間後の財源確保策は
(一般質問 8名登壇) …… 13

特別委員会報告 …… 11

「次は ぼくが ひきうけた！」
盛り上がった 年長男子のリレー
関連記事 P.22

令和元年度 決算「住み続けたいまち こおり」を目指し！

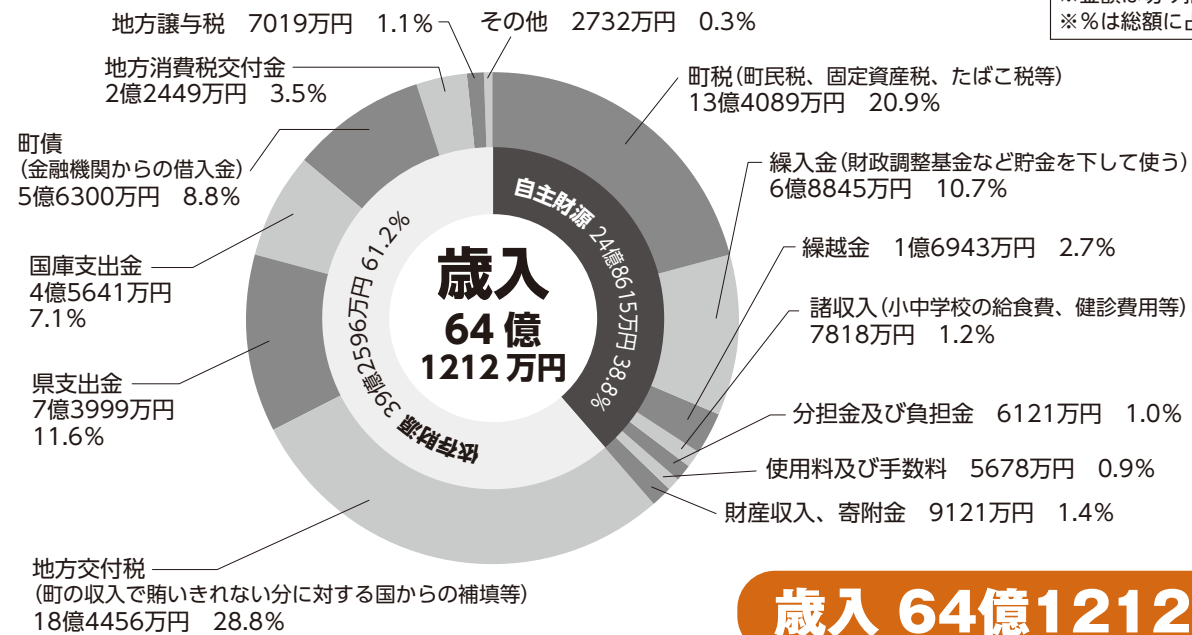
認定

賛成 8 / 反対 2

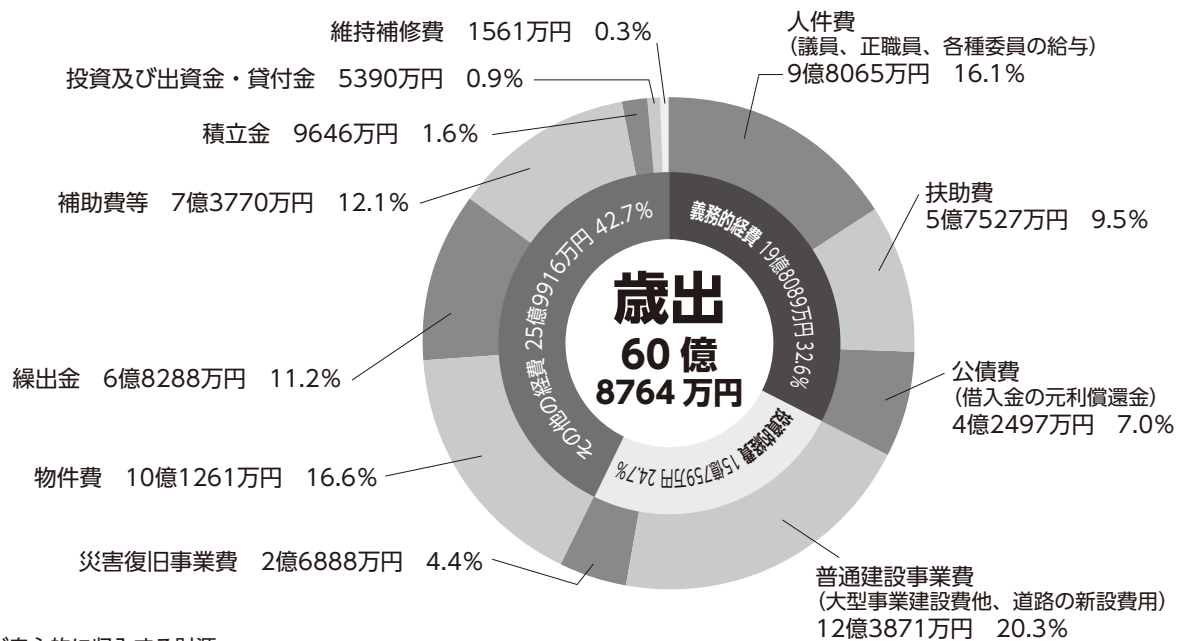
町税 1 人あたり年次別比較

町税一人当たり総額 令和元年度 114,812円(要因：人口減、固定資産税増等)
(平成30年度は 109,341円)

※金額は切り捨てで万円まで。
※%は総額に占める構成比。



歳入 64 億 1212 万円



歳出 60 億 8764 万円

- 自主財源…町が自主的に収入する財源
- 依存財源…国や県から定められた額を収入する財源
- 投資的経費…施設など財産として将来に残るものに係る経費
- 義務的経費…支出が義務付けられ任意に節減できない経費

令和元年度 このように使われました。

款	本年度決算額	構成比	主な内容
総務費	14億9778万円	24.6%	新庁舎建設関係、指定管理料一部事務組合負担金、
民生費	12億934万8千円	19.9%	社会・老人・児童・母子・障がい者福祉関係、予防費
教育費	7億8666万1千円	12.9%	子育て支援、小・中学校ICT環境整備、文化財(西山城整備)

〈健全化判断比率〉 報告された健全化判断比率

実質公債費比率※1		将来負担比率※2	
29年度	11.6%	29年度	7.4%
30年度	11.4%	30年度	3.6%
令和元年度	10.4%	令和元年度	14.4%
早期健全化基準※1 25.0%		早期健全化基準 350.0%	

※1 実質公債費比率、早期健全化基準…数値が小さいほど固定経費、借金の支払いが小さく財政負担が少なくなります。
※2 将来負担比率…数値が小さいほど将来の負担が小さくなります。(借金の支払いなどが減っていく)

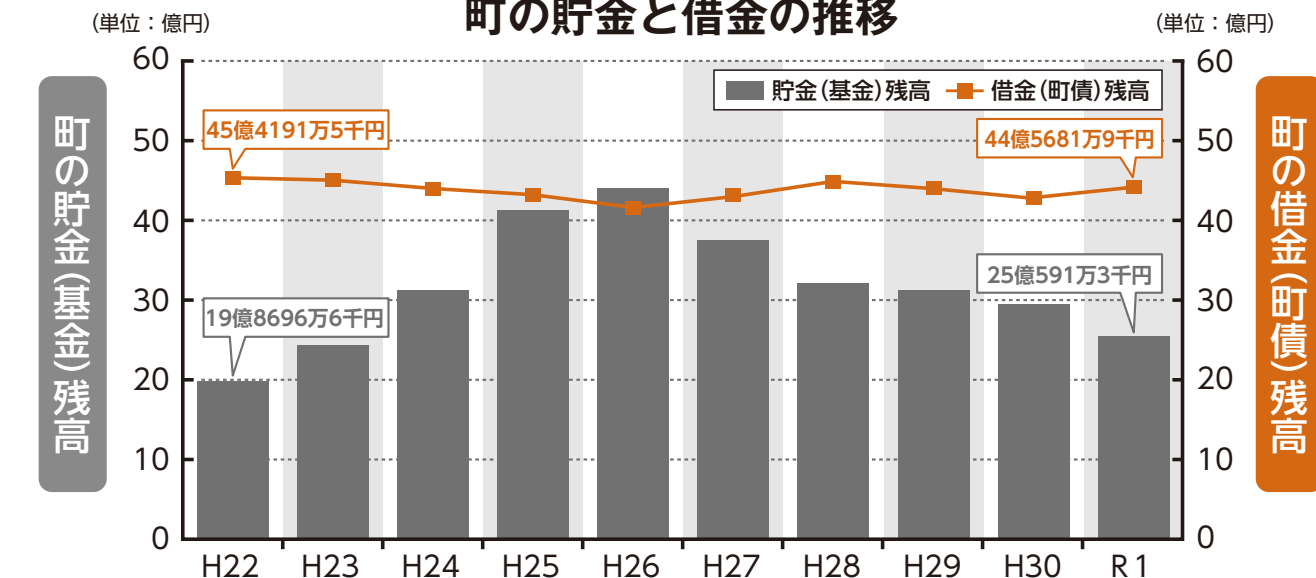
主な特定目的基金

がんばるふさと桑折応援基金	積み増し額	7559万8千円
	年度末保有額	9139万7千円
役場庁舎建設基金	取崩額	3億2842万1千円
	年度末保有額	6億5048万円
公共施設維持管理基金	取崩額	1070万円
	年度末保有額	7478万2千円

決算の概要

令和元年度一般会計、各種特別会計及び水道事業の決算審議では、2日間にわたり全課への質疑を行った。その後、8名より町長に対し総括質疑を行い、全ての会計決算を承認した。

町の貯金と借金の推移



令和元年度
一般会計決算

総括質疑

佐藤 榮三 議員

各種会計の執行率は

問 本会計における執行率94・45％について町長の評価は。
答 目的達成のため業務執行を行った請差の発生や、仮置き場の撤去作業の変更などが要因だ。**執行率は100％が目標**。執行残については翌年にしっかりと活用していく。

多面的交付金事業の活用

問 組織の広域化による事業で、薬師前農道改良工事、パイプライン設置について通常では手をかけられない大事業が行われた。町長の評価と考え方は。
答 **安価な手法により出来た工事であった**。これは役場庁舎工事現場の残土の利用により、安価に出来たものと考えてる。

岡本 貴士 議員

借金は増でも

支払利息は大幅減

問 町の借金(町債)は44・5億円、前年度から1・6億円増えた。しかし、支払利息は、3,355万円から2,872万円(年利0・62%マイナス483万円と大幅に減少。近年は、金融緩和により、超低金利の時代である。政府資金(財政融資資



多面的支払交付金事業 1,253万円

金)金融機関を積極的に活用する好機である。現状と今後の資本政策を伺う。
答 新庁舎建設の借入金(年利0・35%をはじめ、引き続き調査研究し、**人脈を活かして、さらなる低金利のものへ借り替え**できるよう交渉していくこと

対象)。ふるさと納税への取組評価を伺う。
答 受入件数の増加要因は、シティプロモーションの効果と返礼品の桃が高い評価を得たことである。**本町の「強み」を磨くため、産地維持・生産者を守るべくさらなる政策を講じたい。**

鈴木 隆志 議員

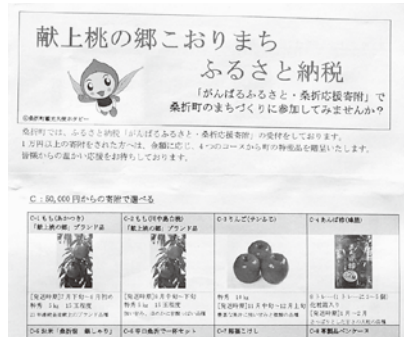
ふるさと納税 受入件数2・8倍増

問 令和元年度の本町のふるさと納税の受入件数は、前年度1,232件から3,489件2・83倍と大幅に増えた。総務省「令和2年度ふるさと納税に関する現況調査について」のデータを分析すると、本町の増加率は、福島県内で1位であった(前年度の受入件数600件以上を

職員の自己啓発支援事業を活用して

問 職員の知識、技術・技能の習得または向上を目的とした事業だ。町行政運営上多くの職員に活用してほしいと考える。利用者が少ない状況について町長の所見は。
答 事業の利用が少ないのは残念である。今後、行政上、多くの職員に利用していただき、**自らの資質向上に努め、町行政に活用していくことが必要**と考える。

現在所属している部署の担当業務に関係なく、町行政全般で活用できる知識の習得に向け職員に広く事業を活用するように検討対応していきたい。



ふるさと納税 7,559万8千円

「桑折町史」頒布の 在り方は

問 「桑折町史」の頒布部数が近年停滞し、かなりの数の在庫が販売されずに保管されている。販売増に向けてさらなる対応が必要と考えるが町長の所見は。
答 発行後相当な期間を経ており、頒布も限界にきている。今後、保管場所、保存状態等考慮して販売価格を見直し割安価格で販売するなど思い切った対策が必要だ。**あらゆる機会を利用して販売促進に努めていきたい**。歴史と文化の町を標榜して

いるわが町において、交流のある仙台圏、首都圏の交流人口、観光人口の拡大に向け町PRの一環としたい。町史に触れ興味をもってもらうなど今までと違った手法を模索しながら検討する。



頒布料 9万2千円(23冊)

岩崎 久男 議員

桃せん孔細菌病の 対応策は

問 阿武隈川流域の砂子沢、上郡、伊達崎地内では、桃のせん孔細菌病により平成30年・令和元年と被害を受けている。県も現地調査を行い、被害状況の把握に努めている。今後の対応策等は、防除方法や大幅な収入の減少となった生産者に対して、万全の支援策の体制の確立を図るべきではないか。
答 防除については、県の対策マニュアルに基づけば、**秋季防除から2週間置きに、一斉に薬剤を散布することが有効**と示されている。



モモせん孔細菌病防除対策事業 162万2千円

川名 静子 議員

持続可能な財政の 立て直しが必要

問 実質単年度収支が残念ながら今年度も赤字。単年度収支は財政調整基金から繰り入れれば黒字になる。4年連続は他に例がない。町のお金を4年連続で減らしている事だ。不用額も約2億円と変わらず多く、次年度のために残していると思ってしまう。だが執行率は昨年度より0・8%伸び94・5%になった。持続可能な財政の立て直しが必要ではないか。
答 財政での重要な考えは実質収支で黒字にすることだ。不用額を翌年度で積立や使うという継続性からも効率的な事務執行に努めた結果だ。不用額については**補正での減額対応をしつつ健全財政を維持**していく。

齋藤 松夫 議員

庁舎建設時に第6次 行革大綱がなく遺憾だ

問 新庁舎建設関係だが、この大事業に臨むにあたり、人口ビジョン作成の際の分析・考察を

踏まえて対処したか。この分析では人口減少により地域経済の規模縮小や、歳入の減少による財政悪化が危惧されるとしている。庁舎建設はこのような分析を踏まえ、対処すべきであったと考える。この大事なときに第6次行政改革大綱の策定も行われなかったのではないか。
答 これは見解の相違である。庁舎建設は財源内訳も明らかにしている。**行革大綱は総合計画第5編をもってその指針とし、進行政管理も行ってきた**ところである。

シティプロモーション 位置づけが問題だ

問 シティプロモーション事業を重点施策の第一番目にかかげたが、この事業は個々の政策課題達成のための一手法として位置づけるべきものでないか。これを重点施策の第一とすることは、それ自体が自己目的となつて、その取り組みを肥大化させ、本来の政策課題達成目標を見失うことになりはしないか。本年度も同様であるので所見を伺う。
答 シティプロモーションを第一にあげたのは、桑折町ならではの魅力的な施策を展開し、**桑折町の良さを積極的に発信**して

いこうという趣旨によるものである。



シティプロモーション事業 771万7千円

斉藤 謙 議員

経常収支比率の 計画的改善を

問 4年連続実質単年度収支の赤字を計上している。このことは、これまでの貯金を取り崩し、元に戻せないためである。赤字解消を図るためには、経常収支比率、いわゆる財政構造の硬直化の解消を計画的に取組むべきである。行政は、健全性を図っているとのことであるが、財政分析する場合、健全性、弾力性、安定性、財政負担の適正化の視点で見なければならぬ。健全性だけで判断することはリスクが高くなるので、今後4つの視



都市計画総務費 349万8千円

業者指名のあり方は
適正だったか

問 当該年度の指名競争入札を調べたところ、指名された業者の「辞退」が多かった入札がいくつか見受けられた。11社指名して辞退が8社、14社指名して辞退が11社など入札辞退の割合が多い。それとともに「棄権」や「無効」などの業者もあった。これら指名が適正であったのか。また、改善点はあるものなのか伺う。

答 指名委員長(副町長) 入札は適正に行われている。入札辞退の多いものがあった点については、指名のあり方だけでなく、入札そのもののあり方の観点から改善を図っていかねればと考える。



反対 齋藤 松夫 議員

反対の立場から討論する。理由は二つ。一つは庁舎建設事業のあり方検討において人口減少がもたらす影響を十分に考慮しないで進められ、かつ予算執行が行われたことである。結果して「町民のための庁舎建設」ではなく、町民の要求実現を「財政面から阻む庁舎建設」にしてしまった。二つ目の理由は、水道行政のあり方にある。決算年度中、水道事業ビジョン作成や、上水道と簡易水道統合について議論を行ってきたが、本町水道行政が水道法第2条で定める「地方公共団体の責務」に合致していない事実があらかとなった。強く反省を求めたい。

賛成 岡本 貴士 議員

一般会計決算認定に対し、次の理由から賛成討論をする。ふるさと納税の受入件数の増加、地域おこし協力隊の着任などが

ら、シティープロモーションの効果が顕著に見られ、「桑折ブランド」の知名度が高まった。

また、令和元年度台風19号の際は、町民の命を守る適切な対応が行われた。復旧への取り組みも、地域整備課を中心に迅速に行われた。コロナ禍において、町民の健康・安心のため、今後、更に尽力されることを期待し、賛成討論とする。

賛成 川名 静子 議員

今年度は庁舎建設、台風19号への対応、更には新型コロナウイルス感染症対策と、予期せぬ事態への早急な対応から、町民の命が守られたこと大変有難く思っている。事業面では、執行率が昨年より0・8%ほど伸びた。特に学力向上対策の中での英語検定事業、予想をはるかに超えた2級合格者が出た一例からも、「教育の町こおり」を名実ともにアピールできたものと捉える。しかし財政面では実質単年度収支の4年連続の赤字は他に例がない。本町の身の丈は34億程度。健全な桑折町を持続させるため全課が計画的、効果的な事業を展開し、町民が誇り

に思える町づくりを希望し討論とする。

賛成 原 賢志 議員

秋の台風19号、年度末のコロナ禍によって多くの事業が実施できなかった。しかし、シティプロモーション推進事業、健康福祉等各種事業が一定程度実施され成果を上げた。併せて、災

令和元年度

決算審査意見

審査に付された一般会計及び特別会計、歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書はいずれも関係法令に基づき作成され、計数等もこれら諸帳簿と合致している。

事務事業の執行については、災害対応拠点施設としての新庁舎建設を始め、「シティプロモーションの推進」「健康と福祉の町づくり」事業等、一定の成果を上げたことが認められる。また、予算の執行についても概ね適正に執行されていると認められた。

桑折町監査委員 紺野 範明

佐藤 武朗

決算状況については、一般会計において前年度決算額から歳入で6億8920万2千円、歳出で6億7415万6千円の増と歳入歳出ともに前年度を上回った。歳入では国庫支出金などが減少する一方、繰入金、町債、県支出金などが増加し、歳出も新庁舎整備の推進や県支出金による事業費が増加したためである。

行政運営にあたっては、適正かつ効率的な予算の執行に徹し、更なる町勢の発展と住民福祉の向上に努められたい。

認定 令和元年度 特別会計決算

国民健康保険 健全運営 健康維持向上

《歳入決算額》 13億8, 645万3千円

《歳出決算額》 13億4, 427万1千円

《差引残金》 4, 218万2千円

全額を翌年度へ繰越
実質収支4, 218万2千円
から前年度繰越金5, 621万円を減じた実質単年度収支は、1, 402万8千円の赤字となった。

◆歳入決算の状況

予算額13億9, 178万6千円に対し533万3千円、率にして0・4%の減となった。
国民健康保険税の収入額は、2億4, 870万1千円で予算額に対して収入割合は103・9%であり、調定額3億339万9千円に対して82・0%の収入率となった。

◆歳出決算の状況

決算額13億4, 427万1千円となり、予算に対する執行率は96・6%となった。前年度決算額13億1, 760万3千円に対して、2, 666万8千円の支出増となった。保険給付費等は、70・0%を占め前年度と同じポイントとなった。

後期高齢者医療 1人当たりの医療費 75万1千円

《歳入決算額》 1億6, 633万7千円

《歳出決算額》 1億6, 622万1千円

《差引残金》 11万6千円

全額を翌年度へ繰越

◆歳入決算の状況

予算額1億6, 704万9千円に対し、71万2千円の減となった。後期高齢者医療保険料の収入額は、1億1, 698万6千円となり、調定額1億

1, 759万円に対して99・5%の収納率となった。
◆歳出決算の状況
決算額1億6, 622万1千円となり、予算に対する収納率は99・5%となり、後期高齢者医療広域連合納付金が95・0%を占めた。

介護保険 高齢化率37・2%に

《歳入決算額》 15億9, 747万9千円

《歳出決算額》 15億5, 952万5千円

《差引残金》 3, 795万4千円

全額を翌年度へ繰越

◆歳入決算の状況

予算額15億7, 714万8千円に対して2, 033万2千円(1・3%)の増となった。
介護保険料の収入額は、3億1, 808万円で予算に対する収入割合は105・2%あり、調定額3億2, 248万6千円に対して98・6%の収納率となった。

◆歳出決算の状況

決算額15億5, 952万5千円となり、予算に対する執行率

公共下水道事業 県北浄化センター 復旧へ

《歳入決算額》 2億7, 660万2千円

《歳出決算額》 2億7, 238万4千円

《差引残金》 421万8千円

全額を翌年度へ繰越

◆歳入決算の状況

予算額2億7, 430万4千円に対し、歳入決算額2億7, 660万2千円で収入割合は100・8%でした。歳入のうち受益者負担の収納率は92・8%となった。

◆歳出決算の状況

予算額2億7, 430万4千円に対して、99・3%の執行率となった。
48戸が公共汚水マスへ接続され総汚水量は0・8%減となった。供用対象区域における接続率は90・7%となった。

水道事業 水道事業経営戦略での事業執行

《決算の概要》

給水人口10, 817人(3, 749戸)で前年比116人減少した。普及率は99・6%で0・4%の増で、総配水量1, 351, 769m³で4, 438m³増加した。有収率は88・3%で漏水調査を行い配水管等の漏水を修繕したことにより、前年度より1・2%増加した。

《収益的収支》

・収入 4億2, 251万円
・支出3億3, 729万5千円
・純利益 8, 386万5千円

《資本的収支》 (税抜き)

7, 638万1千円の不足が生じたので、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額63万円、当年度分損益勘定留保資金7, 575万円で補てんした。

令和元年度剰余金処分

水道事業会計未処分利益剰余金処分
・令和元年度未処分利益剰余金 1億3, 886万5千円
・建設改良積立金 7, 886万5千円
・繰越処分 6, 000万円

討 論

反対 齋藤 松夫 議員

反対の立場から討論する。上水道事業会計決算の内容が、近隣町と比べ大変よいことは評価するところである。しかしながら、決算年度中の事務は問題ありとして指摘した「桑折町水道事業経営戦略」に基づいて進められたものである。この点はこれまでの質疑で指摘したとおり、諸々の問題を生み出すものであり、本決算認定に賛成できず反対の態度をとるものである。

賛成 川名 静子 議員

年々給水人口が減少する中、有収水量、有収率88・3％とともに増加させた決算である。監査委員からの意見もなく適正に進められたものと認める。

また、人口減、社会情勢、地域の変化から60年以上経過した簡易水道との懸案事項に關しても、町の回答から前進が見られたと思う。水道水にあつては法の中にあるように、町として全

636万7,900円

令和2年発注の外構整備工事で施工する計画が、台風19号等の豪雨により雨水が建築工事現場に流れ込み、影響が出たことから工事費を外構整備工事から除き建築工事に変更した

討 論

反対 齋藤 松夫 議員

反対の立場から討論する。一つ目、変更契約は内容的に三件あるが、うち雨水対策のため、碎石方式を鉄板方式に変更する件は、本町工事契約約款に照らしその適法性に疑義を抱かざるを得ない。一年余の工事施工期間のなかにあつて雨水対策に鉄板が必要となることなどは想定内のことで契約変更は認めがたい。二つ目、議会の議決を経て成立した契約は、変更する場合も議決が必要である。にもかかわらず、変更契約を前提に当該工事は大半が終了し、工期直前になつての議会提出は議会軽視も甚だしい。議会はこのような議案を断固否決すべきだ。

の町民に安全な水を安定して供給する義務がある。あらゆる方面から調査・検討され、水道料

金の値上げも極力抑え「水道の理想像」で進められることを望み討論とする。

審議されたその他の議案

承認1件、条例制定1件、条例改正1件、契約2件、補正予算2件、報告1件、同意3件、その他1件、請願1件、陳情1件、発議1件、派遣1件の計16件全て原案通り可決・同意した。

専決処分(7/27)の承認

公立学校情報機器整備費

・地方創生臨時交付金
事業継続や雇用維持、「新しい生活様式」を踏まえた地域経済活性化等への対応を支援するため、追加交付を受け、専決処分が行われた。

補正予算

一般会計(第6号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億7,058万7千円を追加し、予算総額を88億8,6

賛成 岡本 貴士 議員

議案調査、現地調査の結果、変更内容にあたる追加工事の目的は①工事の安全性向上②大豪雨に対する排水能力の向上③発

生土の利活用であった。昨今のゲリラ大豪雨を設計当初の段階で予測することは不可能であり、追加工事は安全上、適切かつ必要不可欠なものだと判断できる。同時に、請負業者である橋本店様のご協力もあり、費用は適正かつ安価に抑えられている。現在、新庁舎建設工事が、安全かつ工期通りに進んでいることは、本工事に関わる多くの方々のご尽力の賜物であると敬意を表します。完成まで、引き続き安全を第一に、ご尽力いただけることを期待して賛成討論とする。

反対 斉藤 謙 議員

行政と議会とは、町長は常に両輪であると言いながら、今回の案件には議会への充分な説明など未実施のまま、追加工事が行われたことは、甚だ遺憾であり、今後においてもこのような

条 例 制 定

桑折町農業振興基金条例

本町の基幹産業である農業振興に関する事業に要する資金に充てるための基金を設置する。

条 例 改 正

桑折町役場の位置を定める条例の一部改正

令和3年1月、新庁舎への移転に伴い、役場の位置が変更となるための改正

契 約

財産取得

・買入物件
役場新庁舎用備品
・契約方法
指名競争入札
・契約の相手方
住所 福島市本内字南街道下3番3号
氏名 株式会社 第一
代表取締役 若穂園英人
・買入金額 5,885万円
(うち消費税及び地方消費税) 535万円

新築工事請負契約の一部変更

・本契約年月日
令和元年6月18日
・契約の相手方
福島県福島市五月町10番17号 酪農会館 403
株式会社橋本店福島営業所 所長 国安 治

・当初契約額 18億1,280万円
・変更後契約額 18億3,079万1,600円
・変更契約額 1,799万1,600円
・変更理由
①建築工事における工事発生土処理に伴う増額 374万2,090円
工事発生土は、「埋め戻し及び現場内たい積」で設計、残土搬出を積算していなかった
②建築工事における工事用通路の仮設変更に伴う増額 793万4,300円
場内通路は碎石敷で設計、令和元年7・8月の梅雨前線の停滞やゲリラ豪雨により、安全を確保するため鉄板敷に変更した
③屋外整備工事における屋外排水設備追加施工に伴う増額 (次ページにつづく)

完成をみるまで、安全を第一に工期を順守し建設に当たられるようお願いし、議案第41号に対する賛成討論といたします。

賛成 原 賢志 議員

今回の変更契約は、安全確保と費用圧縮の為此の時期の提出となつたと理解する。当初に工期中の雨水等は想定できるものの、鉄板対応が必要な面積・期間は予想できなかった。概算での変更契約を行うことは望ましくない。完成間近になり変更金額が確定したことから、この時期での変更契約となつたものと理解し賛成するものである。

補正予算

一般会計(第7号)

歳入歳出予算総額にそれぞれ1億579万7千円を追加し、総額89億9,246万9千円とするもの。
《歳入の主なもの》
・普通交付税 1億3,484万7千円
・がんばるふるさと・桑折応援寄附金 2,800万円

変更…臨時財政対策債 390万円
1億3,000万円を1億4,210万円とする。

《地方債の補正》
追加…基幹水利施設ストックマネジメント事業債 390万円
変更…臨時財政対策債 1億3,000万円を1億4,210万円とする。
《介護保険特別会計(保険事業勘定)(第1号)》
歳入歳出予算総額に、それぞれ2,723万7千円を追加し (次ページにつづく)

総額16億6,091万3千円とするもの。

《歳入》

・繰越金 2,723万7千円

《歳出の主なもの》

・償還金及び還付加算金

2,250万6千円

・繰出金 422万5千円

同意案件

町教育委員会委員の任命

桑折地区

氏名 小野 紀章(再任)

住所 字新町15番地の2

任期 令和6年9月30日

町固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴い次の者の選任に同意した。

氏名 鈴木 敏弘(再任)

住所 万正寺字弁天水10番地の5

氏名 佐藤 久一(新任)

住所 字桑島四15番地

議会議員の派遣

町村議会議員研修会

・目的 町村議会議員研修会

・期間 令和2年10月8日(木)

・場所 郡山ユラックス熱海
・研修内容

①議会改革・地方自治関係について(仮題)

②今後の政局・政治の行方

請願・陳情審査結果

○国に対し、「再審法(刑事訴訟法の再審規定)の改正を求める意見書」の提出を求める請願

(請願者)

伊達市梁川町中久保10―1

日本国民救済会伊達支部

支部長 二瓶 勇雄

(審査委員会)

総務文教常任委員会

(審査結果)

継続審査

○保育所等における新型コロナウイルス感染症対策に関わる陳情

(陳情者)

福島市渡利字大豆塚7番地

福島県保育連絡会

代表者 大宮 勇雄

(審査委員会)

産業厚生常任委員会

(審査結果)

不採択

賛成7、反対3

令和元年度 議長交際費支出状況

会費 (各種団体総会等)	49件	203,000円
慶祝 (百最高齢者賀寿祝金)	7件	70,000円
合計	56件	273,000円

令和元年度 議会費決算概要

議員報酬及び期末手当	41,668,772円
共済組合費負担金(年金分) ※制度改正により現議員は対象外	11,382,840円
職員人件費	15,844,510円
需用費(議会だより印刷製本費外)	1,871,597円
その他(旅費、交際費、使用料、負担金等)	5,485,046円
計	76,252,765円

意見書

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっている。地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めること。

2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう、総額を確保すること。

3 令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。

4 税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年9月18日

福島県伊達郡桑折町議会

衆議院議長 厚労大臣 経産大臣 厚生労働大臣
参議院議長 経済再生担当大臣
内閣総理大臣 経産大臣 経産大臣
財務省 創生担当大臣 宛

特別委員会報告

令和元年台風第19号

災害対策等調査特別委員会

調査事件

台風19号による被害状況の調査

調査目的

災害復旧に関する調査のため

令和2年7月15日に、政務調査会として「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」事業について研修会を開催し、東日本台風後における阿武隈川の対応状況について、国土交通省東北地方

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)対策調査特別委員会

委員長 斉藤 謙

当調査特別委員会は、去る6月22日にコロナウイルス感染症が収束するまでの期限で設置された。その後今日まで、4回開催された。その間子ども教育課、健康福祉課、各課長から、これまでの対応及び対策等に関して説明を受けるなど、コロナ感染症に関する協議を続けてきた。特に学校等の対応策等に関して

整備局福島河川国道事務所調査第一課長より説明を受け質疑を行った。

第6回特別委員会(7月17日)

佐久間川改修工事について、地域整備課長より説明を受け質疑を行った。併せて、調査報告の時期と今後の調査内容について協議・検討し、9月定例会で中間報告を行うこととした。第7回特別委員会(8月19日)

委員長 原 賢志

第8回特別委員会(8月27日) 第9回特別委員会(9月11日) 今後の調査内容と中間報告について、協議・検討を行った。

報告内容は、(1)被害の概要(2)対応体制(3)情報提供と避難所(4)被災者支援と災害復旧について調査した分までだ。今後、阿武隈川最下流域の洪水対策、西根堰を含む中小河川対策等の調査を行う。

は、「ICT環境整備・活用委員会」で、タブレット端末等の導入に伴う各校学習会等を継続的に実施しながら、各教職員のスキルアップに努め有効活用していく計画であること。また、県外在住者等(大学生等)の帰省した場合の対応策として、発熱外来を町内の医療機関で対応できないか等に関して現在の感染

議案審議結果表

○全会一致で可決の議案

議案名	討論者	議案名	討論者
報告第5号 令和元年度桑折町一般会計等歳入歳出決算に伴う健全化判断比率及び公営企業会計等に係る資金不足比率について		同意第12号 桑折町教育委員会委員の任命について	
承認第4号 専決処分の承認を求めることについて		同意第13号 桑折町固定資産評価審査委員会委員の選任について	
議案第37号 令和元年度桑折町水道事業会計未処理分利益剰余金の処分について		同意第14号 桑折町固定資産評価審査委員会委員の選任について	
議案第38号 桑折町農業振興基金条例	齋藤松夫	認定第2号 令和元年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定について	
議案第39号 桑折町役場の位置を定める条例の一部を改正する条例	齋藤松夫	認定第3号 令和元年度桑折町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第40号 財産の取得について		認定第4号 令和元年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算認定について	
議案第42号 令和2年度桑折町一般会計補正予算(第7号)		認定第5号 令和元年度桑折町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	
議案第43号 令和2年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)		発議第4号 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書(案)	

※報告は採決なし

○賛否の分かれた議案

議員名	岡本貴士	鈴木隆志	岩崎久男	齋藤松夫	佐藤武朗	斉藤 謙	羽根田八千代	佐藤榮三	川名静子	半澤 高	原 賢志	片平秀雄	可否
議案名 第7回定例会													
認定第1号 令和元年度桑折町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	●	●	○	○	-	○	○	○	○	-	可決
議案第41号 桑折町役場庁舎新築工事請負契約の一部変更について	○	○	●	●	○	●	-	○	○	○	○	-	可決
認定第6号 令和元年度桑折町水道事業会計決算認定について	○	○	●	●	○	○	-	○	○	○	○	-	可決

○：賛成 ●：反対 □：討論者



斉藤 謙 議員

契約期間後の財源確保策は
県教育委員会を通じ国に求める

問 新型コロナウイルスに伴う公立学校情報機器整備費及び通信ネットワーク環境施設整備に
関して、各種指導体制確立のため
のスケジュール及び推進指導
体制と指導完了時期はどのよう
になっているのか。また、タブ
レット端末等の更新時期と財政
負担の見込、ランニングコスト
の見込額低減化をどのように検
討していくのか。

答 町長 先月26日に来年2月
26日まで委託契約をした。指導
体制はICT教育専門家及び教
育委員会主催講習会等を通じて、
各教職員のスキルアップに努め、
整備完了次第すぐに有効活用で
きるように準備を進めていく。
また、タブレット等のランニ
ングコストについては、県教育
委員会等と協議しながら、県を
通じて引き続き国による支援を強
く求めていく。

指標			
指標名	現状 (H27)	目標値 (H33)	説 明
経常収支比率	86.4%	現状以下	普通建設事業費等政策的経費に充当できる一般財源の弾力性を示す指標です。今後、扶助費や維持補修費の増加も予想されますが、行政経費の節減合理化や事務事業の選択集中を推進し、現状以下となるよう目指します。

ー総合計画からー

これも 質 問

- 問** 公共施設等の着実な維持管理を

答 総合管理計画に基づき、長寿命化に務める
- 問** PCR検査体制の充実強化で帰省者安心を

答 国の方針を踏まえ対応していく
- 問** 活動人口創出で更なる地域興しを

答 大きな原動力であり、主体的な団体を支援

問 「まち・ひと・しごと総合戦略」は、第一期が終了し令和
二年度から第二期がスタートし
ている。当町では現計画を引続
き来年度まで継続するとしてい
るが、人口が40年後には現在の
人口の約半分にまで減少する推
測がされている。これら将来の
人口推測に基づき経済面にまで
及ぶ総合計画（上位計画）を策定
していくためには、経済産業省
が開発した「地域経済分析シス
テム」（リーサス）を活用するこ
とが重要と考える。リーサスに
は「産業マップ」「観光マップ」
「人口マップ」「自治体比較マッ
プ」等による人口等の流出入動
向は一目瞭然であり、シタイプ
ロモーション事業の成果の把握
が可能となる。

答 町長 リーサス活用の勉強
会をさらに拡大した範囲で知識
習得に努めながら、各種イベン
ト等のシタイプロモーション事
業を引き続き取り組み強化を計っ
ていく。

リーサス活用認識の強化を
継続して知識習得を図り生かす

一 般 質 問



8 名登壇

- ◇一般質問は、質問者が事前に提出した通告書に基づいて、一人持ち時間60分で行われます。
- ◇内容は、質問者の責任で作成された2項目、660字以内で掲載しています。
- ◇質問項目は、通告によるものです。
- ◇一般質問の様子は桑折町議会のホームページ(録画)でご覧いただけます。

登壇議員	質問項目	○印が掲載	登壇議員	質問項目	○印が掲載
半澤 高議員	①. 「最高デジタル責任者」の設置について ②. 全国山城サミット桑折大会プレ大会、本大会について ③. 役場新庁舎移転について ④. 移住定住促進について		斉藤 謙 議員	①. 新型コロナウイルス関連に伴う公立学校情報機器整備費及び通信ネットワーク環境施設整備費等に関して ②. PCR検査体制等に関して ③. 地方創生等に関して ④. 地域づくりに関して ⑤. 行財政運営等に関して	
鈴木 隆志議員	①. 役場新庁舎開庁に向けての新庁舎の整備状況について ②. 役場新庁舎開庁によるコロナ感染症対策について ③. 役場新庁舎開庁による出先機関の管理体制について ④. 役場新庁舎開庁による旧庁舎跡地の利活用について ⑤. 献上桃の郷こおり町ふるさと納税について		川名 静子議員	①. コロナ禍の影響により変更となる事業に関して ②. 総合計画 第5編 行政改革に関して ③. 旧伊達郡役所を核とした町づくりの拠点整備に関して ④. 公共施設等総合管理計画に関して ⑤. 増設された避難所に幼稚園が加わった経緯に関して	
岩崎 久男議員	①. 阿武隈川等の改修について ②. 桃のせん孔細菌病の被害状況と対応策について ③. 新型コロナウイルス感染症対策について ④. 都市計画法第34条11項について ⑤. 東京電力(株)に対する損害賠償請求について		佐藤 榮三議員	①. 桃せん孔細菌病対策と「献上桃の郷」維持について ②. 「自助・共助・公助」を活かした地域の環境整備について ③. 町の賑わい創出について	
齋藤 松夫議員	①. 人口減少時代下の町づくり方針であるまち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び同総合戦略について ②. 水道事業ビジョン策定方針について ③. 簡易水道統合問題と「簡易水道あり方検討会」で示した町方針(案)について ④. 伊達市へのイオン出店及び蚕糸跡地への商業施設誘致問題について ⑤. 総合計画で掲げた21世紀の追分プロジェクトについて ⑥. 有害鳥獣対策と山沿い地域振興対策について		岡本 貴士議員	①. 町民の「コロナ疲れ」対策と心のケアについて ②. 空き家・空き店舗の活用について ③. 婚活事業の進捗状況について ④. インフルエンザ予防接種費用の全額支援について	



川名 静子 議員

行政改革の指針は【大綱】なのでは 【大綱】を作らないわけではない

6月定例会において「行政改革大綱」は「町総合計画の第5編に移行し取り組んでいる」との回答だが納得いかない。「大綱」と「総合計画」は性格上違う。

問 第5編に移行した事を町民へ説明し理解されているか。

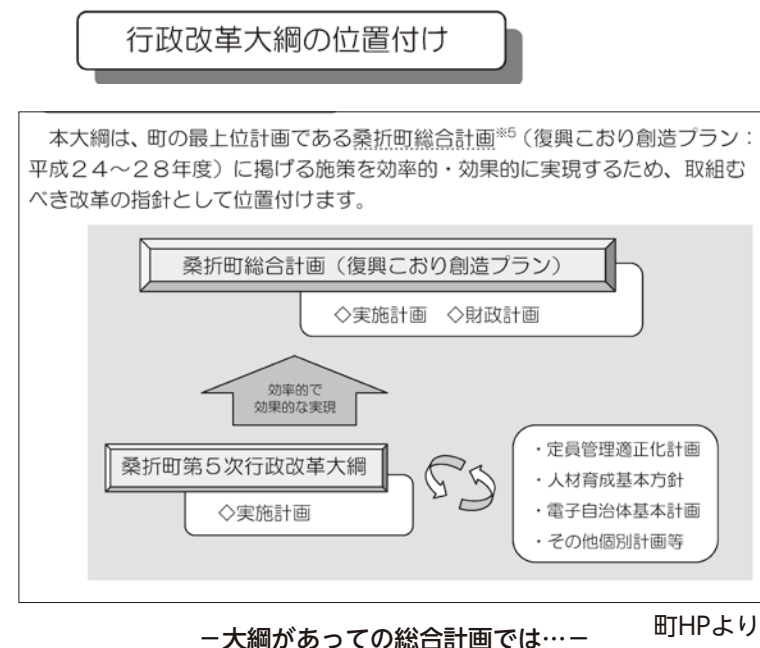
答 町長 行革大綱と同様の位置付であり、町民理解も得られている。

問 分野別計画は全て予定通り策定されたか。

答 町長 総合計画を補完するもので未策定のものもある。

問 「大綱」と「総合計画」が同等の位置付けとするなら震災後に作られた「大綱」が指針となるのか。新計画は人口減に伴い社会が大きく変化する10年間の計画を作成するのだ。桑折町はどこに向かうのか。指針となるのは「行政改革大綱」では。

答 町長 行財政改革は必要である。「住み続けたいまち、住みたいまち」を目指していく。「大綱」を作らない訳ではない。まずは新総合計画を策定した後、策定に努めていく。



桃せん孔細菌病対策と 「献上桃の郷」維持を 危機感を持って対処する



佐藤 栄三 議員

問 本町基幹産業の農業、中でも27年連続で皇室、宮家に献上することができた桃、今年は春先の干ばつ、6月下旬から7月上旬の雨、その後は例年になく猛暑、大変な苦勞の中での収穫作業であった。しかし、桃せん孔細菌病の多発、春先の異常気象の影響で収穫量、出荷量の減少、また、新型コロナウイルスの影響により農家収入に減少が生じ、桃生産者に大きな打撃を与えている。



—手塩にかけて育ててきたのに—

持は基より、生産意欲さえ無くしてしまふ。「献上桃の郷」ブランド維持に向け、この状況を打開しなければならぬと思うが。

答 町長 「献上桃の郷」の産地維持継承を図るべく危機感を持って対処している。JAふくしま未来、伊達果実農業協同組合と協議を行い、今般、補正予算案を計上した。国、県に対しても要望を行った。減収した農家への支援については実態調査したうえで対応する。

コロナ禍だからできる文化事業を 町民に元氣と勇氣を届ける

コロナ禍の影響により中止を余儀なくされた事業も多い。町民の努力の賜物である。終息当初予算をどう活かすか伺う。

問 中止とした事業でも、目的達成のための新たな事業検討は。また、予想される影響は何か。

答 町長 平時のような実績は見込めないが手法や内容の変更で新たな効果も期待できる。交流人口等の減はあったが検討する。

問 町内感染者は0を更新中だ。町民の努力の賜物である。終息した時、苦しく辛い記憶だけに残るのではなく、「接触は最小限に、思い出は最大限に」コロナ禍だからできるドライブインシアター等で町民に「エール」を届ける「文化事業を行う考えは」。

答 町長 山城プレ大会、熱気球体験等で町民に元氣と勇氣を届けたい。示唆に富んだ提案検討する。

これも 質 問

- 問** 交流人口の拠点「町の駅」設置の考えは
- 答** 来町者へのおもてなし、情報発信の場と位置付け研究する
- 問** 50年を経過した釀芳小の計画的な修繕は
- 答** 緊急性の高い箇所から優先的に補修を行う
- 問** 釀芳幼稚園が避難所として適しているか
- 答** 三密を避けられるスペース、駐車場が確保可能

町の賑わい創出策は

県、町の補助金制度を活用して

問 先般、上町に地ビールの専門店がオープンした。都会的な建物で店内もおしゃれな造りだ。一目で若い人に好かれる雰囲気のあるお店にみえた。この様な店が本町に数店出て頂いたことは誠に喜ばしいと思う。

答 町長 空き店舗の利用者については、商工会を通じて、県の家賃支援制度が活用できる。町でも県と同額の上乗せ補助を行い、更なる支援に努めている。

これも 質 問

- 問** 「自助、共助、公助」を生かした
- 答** 多面的機能支払い交付金事業を活用して地域の環境整備は



岡本貴士議員

全町民にインフル予防接種助成を 全町民を助成対象に協議に着手

問 新型コロナウイルスの感染収束が見込まれない中、秋冬に、危惧されるのは、インフルエンザの流行である。今打てるワクチンを事前に打ち、発熱による患者を抑え込むことは、町民の健康はもとより、医療現場、社会を守ることに繋がる。そこで、全町民へインフルエンザ予防接種費用を全額助成すべきであると思うが考えを伺う。

答 町長 65歳以上の高齢者及び60歳から64歳までの基礎疾患等のある方、並びに町独自に妊娠及び生後6か月から18歳までの児童を対象に費用の一部助成を行っている。感染リスクが高いつと思われる現対象者の確実な接種勧奨に努めるとともに、今冬に限っては、助成対象を全町民に拡大する方向で関係機関との協議に着手した。

※これまで対象外であった町民に対し費用の一部補助を拡大した。
詳しくは各戸配布の町「お知らせ版」をご覧ください。



―詳)健康福祉課へ 582-1133―

コロナ疲れ・心のケアへの取組は 勇気と将来の希望を届けたい

問 私は、本町に移住し、お陰様で2年目を迎えた。本町の魅力は、桃の美味しさ、半田山の自然の美しさ、歴史と文化、町民の皆様の温かさであると感じている。昨年の台風19号や新型コロナウイルス感染症の対応を通じて、町民の皆さんの「地域連帯力」「我慢強さ」も本町・町民の魅力であると感じている。先の見えない不安と自粛は地域イベント等での交流の楽しさや安心を感じる機会を激減させ、我慢強い町民の皆さんも限界に達していると思う。町民のコロナ疲れ・心のケアへの取り組みを伺う。

答 町長 「コロナに打ち勝つ・桑折エールプロジェクト」において「室屋義秀氏エフライト」を実施し、多くの町民に元氣と笑顔を届けることができたと確信しており、第二弾となる新たな企画を検討している。

これも質問

問 空家・空店舗の借主へのリフォーム補助を
答 10月から支援の対象要件に加える

問 「はび福なび」との連携の検討結果は
答 本町での出張登録会開催に向け調整中である
*ふくしま結婚・子育て応援センター運営

山城サミットプレ大会のコロナ対策は 感染拡大防止策を徹底する

問 全国山城サミット桑折大会プレ大会の各企画における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策は。
答 町長 プレ大会は、対象者を町民に限定し、事前申込制により参加者を把握するとともに町の「COVID-19アクションポリシー」に沿った感染防止策を徹底し、実施する。

問 来年度の本大会開催は決定か。
答 町長 全国山城サミット桑折大会については、平成27年度の滋賀県米原大会において、令和3年度本町開催が内定している。正式には、今年11月1日開催の長野県上田大会において決定される。



半澤高議員

「最高デジタル責任者」の設置を アドバイザーの設置を検討中

問 「新しい生活様式」が求められている現況下において磐梯町議会では、3月5日に全員協議会、6月9日には常任委員会を全国で初めてオンラインで開催した。その背景には、磐梯町が「最高デジタル責任者」と「デジタル変革戦略室」を設置し、デジタル変革を推進している点があり、現時点では、デジタル変革へ向けてのICT化を着実に進めているとの事である。桑折町においても、今後「最高デジタル責任者」や「デジタル変革戦略室」の設置を考えてみてはどうか。

答 町長 ICT化の推進については、公共施設の公衆Wi-Fi環境整備事業やGIGAスクール構想、オンライン会議の導入など利活用に努めている。今後は、現下のコロナ禍を契機にビッグデータ解析やAIの活用等があらゆる分野において加速度的に進んでいくことから行政分野においても、専門的かつ高度な知見を有するアドバイザーの配置と人材育成が必要であると考えている。



―町民に根付いたデジタル化を―

これも質問

問 新庁舎の維持管理計画は
答 年度内を目途に策定予定である

問 テレワークセンター等の検討は
答 関係部署が連携し情報収集中だ



鈴木隆志議員

新庁舎開庁に向けてのコロナ対策は 感染防止対策に万全を期し実施

ふるさと納税のさらなる増加策は
返礼品等の見直しを進める

新庁舎開庁に向けてのコロナ
感染防止対策について伺う。

問 AI体温検知カメラは玄関
2箇所に設置が必要では。

答 町長 正面玄関のみの設置
を、玄関2箇所に変更し設置す
る。

問 AI体温検知カメラで高熱
者とされた方への対応は。

答 町長 「広報こおり」により
町民あて事前周知に努める。

問 庁舎内感染防止対策に向け
ての取組みは。

答 町長 玄関に消毒用自動噴
霧器を設置すると共に消毒液に
よる拭き取り掃除等実施してい
く。

問 庁舎内の消毒作業等業者委
託する考えは。

答 町長 消毒作業は以前同様
職員による「クリンタイム」を
活用して毎日、一定時間実施し
ていく。

問 新庁舎開催イベント及び新
庁舎で開催予定している事業に
対する感染防止対策は。

答 町長 開庁式並びに成人式
等の行事について、感染防止対
策に万全を期し実施していく。

さらなる寄附の増加に向け
ての対応について伺う。

問 新たな返礼品として町施
設の宿泊券、食事券等を選定
する考えは。

答 町長 返礼品は年間を通
し見直しを図っており、宿泊
券、食事券等についても検討
を重ねていく。

問 寄附金の使い道に重点を
置いた寄附が増加している。
寄附金の利用状況をPRする
ことが寄附者の呼び込みにつ
ながると考えるが。

答 町長 広報紙に寄附金の
使途を掲載しているが、今後、
町HPに特出し、募集と合わ
せさらなるPRに努めていく。

問 「桑折町を応援、貢献し
たい」という想いが、寄附者
の定着につながると思うが。

答 町長 今後、寄附者の礼
状にQRコードを表示し町HP
へ誘導すると共に各種行事
を活用し寄附者との交流を図
りさらなる桑折ファンの定着
に努めていく。



—これも寄附金を活用して—

これも質問

問 新庁舎総合案内窓口体制は

答 常時1名配置し不便をきたさないようにする

問 新庁舎移転に伴う備品は

答 再利用に努めるが、

不用品は町民に払下げする

問 新庁舎駐車場利用案内板は

答 今後、必要に応じ設置検討する

東京電力(株)に対する損害賠償請求は ADRへ申し立てを検討

問 損害賠償額は一般会計約
6億6441万円であり、
現在までの受領額は僅か約
2432万円である。原発事
故から10年目を迎え節目の年
であることから今後の対応策
として、ADRへの申し立て
や提訴も考えるべきでない
か。

答 町長 請求項目のうち職員
人件費等について進展が見られ
ることから、引き続き粘り強い
交渉を進めてゆく。「支払いが
困難になった項目ごと」にADR
への申し立ても一つの方法であ
る」と顧問弁護士から指導を受
けている。

阿武隈川の早期の改修を 護岸改修工事は施工中である

問 地球温暖化による自然災害
からの対策強化を図り、伊達崎
橋の下流の樹木の伐採、河道掘
削等、国土交通省、県に再度強
く要望すべきである。

答 町長 阿武隈川緊急治水プ
ロジェクトに基づき伊達崎地区
において、護岸改修工事は施工
中であり、河道工事は既に発注
されたと聞いている。県が管理
する、河川の雑木の伐採は継続
的に要望している。

問 佐久間川堤防復旧は大規模
な改修に向け、測量設計に着手
したとのことだが、進捗状況を
伺う。

答 町長 佐久間川の改修工事
については、7月に北沢地区で
工事概要の説明会が開催され、
現在用地買収を行うための測量
が進められている。



—河川の早期整備を—

これも質問

問 新型コロナ感染症対策は

答 感染拡大防止対策に全力で取組む

問 都市計画法34条11項は

答 区域指定の手続きに着手していく



岩崎久男議員



齋藤 松夫 議員

水道ビジョン作成主体に誤りが ご指摘のとおり作成主体は町となる

問 今年度事業の水道事業ビジョン作成主体は「桑折町水道事業（上水道）」だと、簡易水道組合の方々に説明しているようだ。しかし厚労省の「同作成の手引き」では、上水道と簡易水道の二つの水道事業者が存在する場合、「町」が作成の主体になると解説しているではないか。これまでの説明に誤りがあったことを認め、「桑折町」が作成主体とすべきでないか。厚労省の「手引き」をよく読んで答弁願いたい。また上水道事業で作成した「経営戦略」を、町全体の「水道事業ビジョン作成の基本」とするという説明も、同様に根本的な誤りではないか。

答 町長 厚労省の手引きによれば、水道事業ビジョン作成主体は桑折町となる。「経営戦略」だが、このたび水道事業一本化の将来像を示したところであり、ご理解を願う。

問 イノシシに加え、猿や熊まで頻繁に出没するという状況となっている。山沿い地域振興対策が重要課題ではないか。耕作放棄地が増えるなか、多面的機能支払い交付金事業（耕作放棄地対策等）の受け皿組織確立も急務だ。道路改良、未舗装道路対策も急がれる。中断状態の町道志田ノ内線、さらに、銀山東線の町道改良の進捗状況はどうか。

答 町長 中山間地域については、自助、共助、公助の役割分担で、住民と連携しながら対応している。交付金事業については組織立ち上げに向け、地元住民と協議をすすめている。銀山東線の改良については、道路用地測量業務を10月発注予定である。志田ノ内線は用地の関係で休止状態にある。町道の未舗装対策は利用状況に応じて検討しているところだ。

山沿い地域振興対策が急務だ！ 自助、共助、公助の役割分担で対応



ー工事再開がまたれている志田ノ内線ー

これも 質 問

- 問** 「町人口ビジョン」での、分析を生かしているか
- 答** 「有識者会議」より、一定の評価を頂いた
- 問** イオン出店への所見は
- 答** 現段階で答弁は控える
- 問** 21世紀追分プロジェクトの進捗は
- 答** 企業誘致第1号ロジコムとの

協定締結に至った

委員会活動報告

総務文教常任委員会

委員長 斉藤 謙

閉会中の所管事務調査「人口減少時代下における行財政運営管理のあり方」について調査中です。桑折町「まち・ひと・しごと創生」人口ビジョンでは、平成30年度国勢調査人口約1万2千人から40年後の推計人口が約6千人と予想されている。令和元年度の1人当りの町税総額が約11万5千円で、現在の事業を継続していくためには1人当りの町税が約倍となる。このことから行財政改革を進めていかなければ、未来を受継ぐ子供達の負担が大変になることが予想される。当面、財政構造の硬直化、いわゆる経常収支比率が95%と大変高くなっていることから、性質別費目毎に明確な数値目標を掲げた改善をすることが喫緊の課題となっている。

さらなる調査を継続しながら、所管事務調査を進めていく考えである。

(表) 将来展望及び基準推計の総人口

[単位：人]

年 次	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
将来展望	11,988	11,594	11,043	10,543	10,058	9,600	9,165	8,783	8,443	8,148
基準推計	11,988	11,544	10,795	10,069	9,358	8,661	7,979	7,343	6,745	6,187

産業厚生常任委員会

委員長 佐藤 栄三

当委員会では本年の「桃せん孔細菌病」の多発により、桃農家の収量（収入）に多大な影響を与えていることを憂慮し、現況を把握すべく、9月1日桑折営農センターを訪問して実情を調査した。

営農センターの担当者から被害の状況の話を聞いた。特に阿武隈川沿いの被害が想像以上であった。3割から7割被害、園地によつては、ほぼ全滅の園地もある。

例年では、早生種には被害は少ないが、今年は早生種から多発している。このことから今後

の対策については、秋の消毒を1回増やして4回の農薬散布とし、散布の薬量も10アル当たりに400リットルむらなく散布するように指導していく。防風ネット、防風林等も効果はある。また、改植による対策も必要であり効果が期待できるとのことであった。

各委員からは発生要因、薬剤の効果、菌体種類、防風ネットの効果、農薬の研究具合など種々の意見、質問がなされた。

さらに、令和元年度産地パワーアップ事業で導入した、イタマーズ式選果機を見学した。

議会運営委員会では、桑折町議会基本条例第20条に基づいた検証について、引き続き調査を行っている。今後は、『公聴会制度利用』、『総合計画審議のあり方』、『議員の成り手不足解消』等について調査を進め、12月定例会にて当調査事項に関して報告する予定である。

また、6月定例会で設置した「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策調査特別委員会」での協議（第2回…7月19日開催）を受けて、『役場新庁舎議会関連部分の新型コロナウイルス対策』について、議会運営委員会を7月29日に開催し、総務課・新庁舎整備室より説明を受け質疑を行った。

なお、8月11日開催の第4回調査特別委員会にて「議場でのアクリル板の使用」「換気」「傍聴席の数」など、その結果を報告した。

議会運営委員会

委員長 半澤 高

令和元年度 産地パワーアップ事業



JAふくしま未来伊達地区 桑折営農センター

年	月	日	活動状況	内 容	出 席 者
7	3	6	広報広聴常任委員会	議会だより夏号の編集	選出委員
			広報広聴常任委員会 議会運営委員会	議会だより夏号の編集 6月定例会の総括について、今後の進め方について	選出委員 選出委員
	7	8	議会全員協議会	「平成30年度決算に係る統一的な基準に基づく財務書類」について、「町総合計画町民アンケート調査結果」について	全 議 員
			広報広聴常任委員会	住民参加と情報公開の推進について	選出委員
	9	10	議会全員協議会	「地域福祉計画」、「第2期子ども・子育て支援事業計画」、「第二次活き生きこおり健康プラン(中間評価)」について	全 議 員
			広報広聴常任委員会	議会だより夏号の編集	選出委員
	14	15	産業厚生常任委員会	「桑折まちづくりネット」との意見交換会	選出委員
			第2回新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策調査特別委員会	特別委員会調査内容に関して	選出委員
	16	17	政務調査会	「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」について	全 議 員
			総務文教常任委員会	人口減少時代下における行財政運営管理のあり方について	選出委員
	20	21	議会運営委員会	議会基本条例20条に基づいた検証について	選出委員
			第6回令和元年台風第19号 災害 対策 等 調査特別委員会	佐久間川改修工事について、「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」について	選出委員
	22	23	第3回新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策調査特別委員会	新型コロナウイルス感染症に対する農業対策及び支援状況について、商工業の支援状況について、避難所における新型コロナウイルス感染症対策について	選出委員
			広報広聴常任委員会	議会モニターとの懇談会について	選出委員
	24	25	伊達郡町村議会議長会	第15回伊達郡町村議会議員大会に係る要望事項について	正副議長
			21 定期監査・決算審査	令和元年度事業に関する定期監査・決算審査(地域整備課・生活環境課)	選出委員
	26	27	22 定期監査・決算審査	令和元年度事業に関する定期監査・決算審査(上下水道課・健康福祉課)	選出委員
			24 桑折町議会モニターとの懇談会	桑折町議員と議会モニターとの懇談会	全 議 員
	28	29	25 諏訪神社例大祭式典	例大祭式	議 長
			27 例月出納検査	定期検査	選出委員
	30	31	定期監査・決算審査	令和元年度事業に関する定期監査・決算審査(産業振興課)	選出委員
			28 総務文教常任委員会	女団連からの意見等への協議について、「人口減少時代下における行財政運営管理のあり方について	選出委員
8	1	2	福島県町村議会議長会理事・監事合同会議	定期総会決議・地方町村議会議長会提出事項に基づく要望書について	議 長
			29 定期監査・決算審査	令和元年度事業に関する定期監査・決算審査(税務住民課・総合政策課)	選出議員
	3	4	議会運営委員会	役場新庁舎議会関連部分の新型コロナ対策について、議会基本条例第20号に基づいた検証について	選出委員
			定期監査・決算審査	令和元年度事業に関する定期監査・決算審査(まちづくり推進課・生涯学習課)	選出委員
	5	6	「献上桃」選果・箱詰式	献上桃の選果、箱詰式	副 議 長
			福島県後期高齢者医療広域連合議会運営協議会	令和2年第2回後期高齢者医療広域連合議会定例会議事日程等について	議 長
	7	8	令和2年第2回福島県後期高齢者医療広域連合議会定例会	専決処分の承認を求めることについて、令和元年度決算の認定について、令和2年度一般・特別会計補正予算について	議 長
			31 定期監査・決算審査	令和元年度事業に関する定期監査・決算審査(総務課)	選出委員
	9	10	広報広聴常任委員会	議会モニターとの懇談会の総括について	選出委員
			1 上町CHEERSレセプション	レセプション	議 長
	11	12	東北中央自動車道相馬福島道路開通式(伊達桑折C-桑折JCT間)	開通式典	議 長
			3 定期監査・決算審査	令和元年度事業に関する定期監査・決算審査(こども教育課・会計室・議会事務局)	選出委員
	13	14	5 定期監査概況報告	定期監査についての監査委員調評	選出委員
			6 全国山城サミット桑折大会準備委員会委員長・副委員長会議	全国山城サミット桑折大会プレ大会について	議 長
	15	16	第4回新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策調査特別委員会	7月27日専決処分(一般会計補正予算(第6号))について、新型コロナウイルス感染症対策に伴う教育関連事業の進捗状況について、健康福祉課で行うイベントや事業開催に対する新型コロナウイルス感染症対策について	選出委員
			伊達郡町村議会議長会	県町村議会議長会理事・監事合同会議結果報告について、第15回伊達郡町議会議員大会(書面開催)に係る要望事項等について	正副議長
	17	18	福島県縦断駅伝競走大会桑折町実行委員会	・実行委員会及び事務局体制について、令和元年度事業報告 ・収支決算について、令和2年度事業計画(案) ・収支予算(案)について、令和2年度桑折町駅伝チーム選手について	議 長
			18 総務文教常任委員会	女団連からの意見等への協議について、「人口減少時代下における行財政運営管理のあり方について	選出委員

年	月	日	活動状況	内 容	出 席 者
7	19	20	第7回令和元年台風第19号 災害 対策 等 調査特別委員会	特別委員会調査報告(案)について、今後の調査内容について	選出委員
			議会全員協議会	「桑折町議会基本条例第7条の改正」について	全 議 員
	25	26	令和2年度福島地方水道用水供給企業団議会定例会	令和元年度福島地方水道用水供給企業団水道用水供給事業会計決算認定の件、福島地方水道用水供給企業団水道用水供給事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	議 長
			例月出納検査	定期検査	選出委員
	8	9	第5回新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策調査特別委員会	役場新庁舎議会関連部分の新型コロナ対策についての現地視察	選出委員
			福島県町村議会議長会	研修会(議会改革・地方分権関係について、これからどうなる政局・政治展望)	正副議長
	10	11	公立藤田病院組合議会全員協議会	病院組合議会運営の検討について	選出議員
			29 東邦銀行 佐藤頭取就任祝会	就任祝会	正副議長
	12	13	31 議会運営委員会	令和2年第7回桑折町議会議定例会の議事日程等について、議会基本条例第20条に基づいた検証について	選出委員
			総務文教常任委員会	「人口減少時代下における行財政運営管理」のあり方について	選出委員
	14	15	産業厚生常任委員会	せん孔細菌病の現状について、女団連からの意見等への協議について	選出委員
			3 第8回令和元年台風第19号 災害 対策 等 調査特別委員会	特別委員会調査報告(案)について	選出委員
	16	17	議会全員協議会	令和2年第7回桑折町議会議定例会(概要、第1日)の議事日程等について	全 議 員
			第7回定例会本会議	・会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、行政報告、町長施政方針、提案理由の説明、補正予算の説明、一般会計決算認定総括説明、特別会計 ・水道事業会計決算認定総括説明、健全化判断比率 ・資金不足比率報告、決算審査結果報告、請願趣旨説明	全 議 員
	18	19	議会全員協議会	提案内容の説明 議案第38号～42号	全 議 員
			総務文教常任委員会	付託事件審査について、閉会中の所管所掌事務調査申出事項について	選出委員
	20	21	議会全員協議会	令和2年第7回桑折町議会議定例会(概要、第2日)の議事日程等について	全 議 員
			8 第7回定例会本会議	一般質問5名	全 議 員
	22	23	議会全員協議会	令和2年第7回桑折町議会議定例会(概要、第3日)の議事日程等について	全 議 員
			第7回定例会本会議	一般質問3名	選出委員
	24	25	議会運営委員会	「議案第41号 桑折町役場庁舎新築工事請負契約の一部変更について」の議事日程について	選出委員
			産業厚生常任委員会	付託事件審査について、閉会中の所管所掌事務調査申出事項について	選出委員
	26	27	総務文教常任委員会	付託事件審査について、閉会中の所管所掌事務調査申出事項について	選出委員
			10 広報広聴常任委員会	閉会中の所管所掌事務調査申出事項について	選出委員
	28	29	議会全員協議会	令和2年第7回桑折町議会議定例会(概要、第5日)の議事日程等について	全 議 員
			第7回定例会本会議	承認1件、条例制定1件、条例改正1件、契約1件、補正予算2件、同意3件 審議採決	全 議 員
	30	31	議会全員協議会	議案内容の説明 議案第41号桑折町役場庁舎新築工事請負契約の一部変更について	全 議 員
			第9回令和元年台風第19号 災害 対策 等 調査特別委員会	特別委員会調査報告(案)について	選出委員
	32	33	議会全員協議会	令和2年第7回桑折町議会議定例会(概要、第8日)の議事日程等について	全 議 員
			第7回定例会本会議	一般会計決算認定所管別質疑(総務文教常任委員会所管)	全 議 員
8	1	2	議会全員協議会	令和2年第7回桑折町議会議定例会(概要、第9日)の議事日程等について	全 議 員
			第7回定例会本会議	一般会計、特別会計、水道事業会計決算認定所管別質疑(産業厚生常任委員会所管)	全 議 員
	3	4	議会全員協議会	令和2年第7回桑折町議会議定例会(概要、第11日)の議事日程等について、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の取り扱いについて	全 議 員
			第7回定例会本会議	一般会計決算認定総括質疑、討論採決	全 議 員
	5	6	議会全員協議会	令和2年第7回桑折町議会議定例会(概要、第12日)の議事日程等について	全 議 員
			第7回定例会本会議	・契約1件審議採決、特別会計 ・水道事業会計決算認定審議採決、水道事業剰余金の処分採決、追加議案審議採決	全 議 員
	7	8	広報広聴常任委員会	議会だよりの編集	選出委員

Cover Photo

～表紙写真～



「運動遊び参観」

感染防止から各年毎に楽しんだ。

お兄さん、お姉さんを見て、おかたづけもしっかりできました。

委員会の活動として、「議会からの情報発信」、「町民が参加する議会」等に絞っている。今回 コロナ禍の中ではあるが、十分な感染予防対策を取り議会と議会モニターとの懇談会を7月24日に開催した。モニターの皆様から「議会モニターに何をして欲しいのか」「住民の声を聴き広聴の一翼になりたい」「また、「政策形成サイクルの進め方」など、意気込みや建設的な意見を多く頂いた。委員会として、頂いた意見をどう活かしていくか議論を深めた中、先進地視察から学んだ【政策形成サイクル】を議会が作成、政策討論会を経て「政策づくり」への一歩が踏み出した。

先に、町女性団体から頂いた意見を各常任委員会で意見交換を行った結果報告を受けた。今後、議員間において意見交換すべき点として、



総務文教常任委員会からは
①若者が定着する町を目指す。
②子どもの未来のために大人が取り組むべき環境問題の2点、産業厚生常任委員会からは特段なしとの報告を受け、議長へ報告した。

広報広聴常任委員会 委員長 川名 静子

町村議会議員研修会

10/8



片山善博教授

県町村議会議長会が主催する研修会が開催された。

初めに早稲田大学院教授の片山善博氏により、「議会改革・地方自治関係について」の講演が。鳥取県知事・総務大臣の経歴を基に、コロナ禍で見えた地方自治の課題として、地方分権改革から20年を経過した現在でも、国の方針に沿って忠実にPCR検査、学校休校等を実施している。しかし、未だに地方分権化が浸透していない現実が見

お知らせ

議会報告・意見交換会

中止

ですが、皆様から

意見を募ります

例年ですと9月定例会終了後に開催しておりましたが、コロナ禍での安全性が確保されないことから中止と致します。しかし、議会活性化のために

は、皆様からの意見が大切です。そこで皆様のご意見を募ります。詳しくは10月21日配布のチラシをご覧ください。

お詫び

前号夏号の審議結果表に記載もれがありました。
第4回臨時会の議案第22号、23号の討論者、齋藤松夫議員の名前が抜けてました。お詫びして訂正致します。

方」と題してジャーナリストの角谷浩一氏より、安倍内閣退陣から菅内閣発足までの動きと新内閣発足後三週間の動向による今後の展望、解散総選挙の時期について講演をいただいた。今回の講演は、地方自治体にとって興味深い内容でした。



町の声

議会広報委員会では発行後、各地区数名の方々にアンケート調査にご協力を頂いております。皆様からの率直な生の声として、「町民の声」のページに掲載しております。わかりやすい、伝わる紙面づくり編集に生かさせて頂きます。

◎議会傍聴から

- ・1～2回傍聴 2名
- ・3回以上傍聴 2名

・質問は町に対して行うので当局に向き質問しては。

(70代男性)

・的はずれの答弁、詳細な説明が欲しい。また、町のにぎわいはイベント開催のみではない。国・県・他自治体に左右されず町の現実を見据え対応を願う。

(70代男性)

・災害対策はハード面と住民意識の変化等のかね合いを図ることがむずかしいが必要であると感じた。

(60代男性)

◎「議会だより」アンケートから

- ・毎回読んでいる 10名
- ・目にした時読む 2名

「議会だより」を読んで気づいた

点・要望など

・議員は、勉強して頑張っていると思う、頼りになれる議員でいて下さい。

(70代女性)

・毎回の編集は大変。議会と町民を結ぶことを重点に。

(60代男性)

・質問と回答の色分けは分かり易い。適時写真(画)も効果的だ。いつまで(期日)は大事、年度内ばかりではない。

(60代男性)

・※印の解説が良い。もっと増やしてほしい(議会だより何号からとか)。
・文字が小さい。
・報告会を開催し、町民の声を収集し取り上げて。

(70代男性)

編集後記

猛暑で始まった9月定例会も最終日には、秋風が頬を撫でるまでに。

果物も桃から葡萄等へ。そして黄金色に輝く稲穂の海が一面に広がる。また、山鳥のモズの声に習性である「はやにえ」が見られる頃。エサの位置で今年の雪の多さがわかるとか。

さて、この秋号には令和元年度の決算内容がどっさり詰まっています。

最終ページまでじっくりお読みいただければ編集委員の疲れも吹っ飛んじゃいます。

川名 静子

■広報広聴常任委員会

委員長 川名 静子 委員 岩崎 久男
副委員長 鈴木 隆志 委員 齋藤 松夫

まちの歳時記 ～変らぬ風景に 安心が…～



議会だより

令和2年10月14日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 片平 秀雄
編集 議会広報広聴常任委員会
電話 (024)582-2113
印刷 株式会社日進堂印刷所

<http://www.town.koori.fukushima.jp>